

施策情報のグループ共有化

①情報連携の取組み(EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み)について

	SSX	九州西濃	沖縄西濃	東北西濃	二興倉庫
現状 (状況及び、課題)	<p>【EDI化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大手顧客独自の送状印刷システムがあり、複数の運送会社を利用、当社のみKM2への切り替えは効率が下がるため不可 AI-OCRの撮影成功率の向上 <p>【IT推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法令対応(インボイス制度・電子帳簿保存法) 社内申請書類撲滅 	<p>【EDI化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終目標100%(9月目標94.3%) 実績: 89.0%(前月より+0.6%) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大量出荷荷主(既存荷主)への交渉不足 →システム変更の手間等により交渉難航 少額荷主へのKM2獲得数が向上せず、月間50件程度の獲得で現状維持の状況 	<p>【EDI化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2店所のAI-OCRが0枚となっている 宜野湾:0枚、豊見城:1,453枚 うるま:680枚、名護:0枚 目標70%達成するために月1,700枚のEDI化が必要 	<p>【EDI化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標95%/9月実績95.35% 100%=▲428枚 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> KM2率/64.17%底上げ 	<p>【EDIの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様へのKM2提案の取組みを継続 対象先の見直し(追加) →10件から12件へ
新たな取組み (課題解決)	<p>【EDI化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> KM2未導入の既存荷主については、担当者の変更時や自社システムの改修時に切り替えを継続してEDI化へお願いする AI-OCRの撮影成功率向上に向け、成功率の低いドライバーからSISの協力の元、失敗例の写真を抜き取り、原因をピンポイントで指導する <p>【IT推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 請求書訂正機能の構築、集約請求書鑑のシステム化、コンカー(経費精算システム)の導入 ワークフローシステムの導入 	<ul style="list-style-type: none"> 新規荷主はKM2、既存荷主はEDI交渉 大量出荷(月間200枚以上)荷主向け(継続)店所長と情シス部長のペアで渉外を行い、荷主のシステムを考慮した提案を行う(目標週1カ所) 少量出荷荷主向け(継続)SDからのチラシ配布(新規)事務職からの電話案内(1日3件)(継続)プランナーからの対面説明 ※SD→事務職→プランナーの連携した導入要請で荷主不安感を取り除き獲得数アップにつなげる 店所の自発的なEDI化推進(新規)各店所にEDI推進委員を設定し、店所内の盛り上げを図る 	<ul style="list-style-type: none"> 3月時点で、宜野湾支店と名護(営)のAI-OCRが0枚となっていたため、個別指導を行う ⇒9月度OCR枚数 宜野湾支店:1,897枚 名護(営):145枚 EDI化率60%以下、且つ、月100枚以上の顧客14社のリストアップからEDI化交渉を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 3月時点では、目標95%=4店所/10店所加えて、2店所の進捗が悪く店所の色ムラが課題だった <AI-OCR> 本社から毎週火/金データ配信 乗務員別の指導徹底 <KM2導入> 北/南東北・サポートチーム編成 新規荷主、未導入荷主へチーム渉外 	<p>【EDI】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自社独自では保有の無いツールの利用を含め、グループ全体でのメリットを生かした提案を継続 特に配送部分において、KM2の提案及び利用促進を図り、EDI化推進の取り組みを進める
効果・実績について	<p>【EDI化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2023年3月93.39%(AI-OCR含む) 2023年9月現在94.91%(AI-OCR含む) セイノーグループ内で2位 2023年度 EDI化率目標 95.12% 	<ul style="list-style-type: none"> 大量出荷荷主向け ペア渉外実績 11社(4~9月累計) 成果⇒8社(原票8千枚)のEDI化を達成 少額荷主向け 成果⇒KM2の獲得数62件(累計349社) KM2、輸送情報交換、AI-OCRへの変更においてKM2獲得のみ伸長 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄西濃実績 2023年3月:EDI化率:54.6% 2023年9月:EDI化率:60.9% ※宜野湾支店、名護(営)のOCR普及により6.3%改善 	<ul style="list-style-type: none"> 3月/93.96%⇒9月/95.67% 6店所達成 未達店所 石巻/93.53%、古川/92.61% 米沢/94.35%、新庄/94.92% 未達店所ももう一歩の水準であり、課題だった店所の色ムラも解消できた 	<p>【EDI】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既に導入していただけた先の利用促進 →導入先:9件 未だ確定していない仕掛り1件に加え、見直しにより2件を追加、引続き取り組みを継続 進捗率:66.7%
ポイント	<p>【EDI化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非EDI荷主は、切り替えタイミングが大事であり時氣を逸しない事 AI-OCRの撮影成功率を高め維持させる為、各店でデータの可視化にて意識を持たせる 特殊原票・他社原票についても、HTでデータ取り込みが可能となればと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 店所が考えて実行していく「自発的なEDI化を推進し、停滞しているEDI化のスピードアップを図っていく 新規荷主はKM2導入、既存荷主はEDI化を継続して進める 	<ul style="list-style-type: none"> 既存のロジ顧客の約700枚/月が非EDIとなっていることから、輸送情報交換システムで解決していく 3社で1,000枚/月を超える顧客をターゲットにEDI化交渉を進める 	<ul style="list-style-type: none"> KM2率/64.17%の底上げ 作業の効率化⇒KM2率/80% OCR撮影=SD負担 EDI化率はKM2導入で向上する 	<ul style="list-style-type: none"> お客様への「お困りごと」 聞き取りの中で提案を実施